

隠岐の島町産和牛肉の牛丼が学校給食で大人気！！

令和3年2月25日（木）、隠岐の島町の学校給食で地元産「隠岐黒磯牛」をふんだんに使った牛丼が提供されました。

コロナ禍で和牛肉の消費減退が進む中、島根県の「県産牛を活用した学校給食緊急提供事業」を活用して、町内7小学校・4中学校・養護学校で約1,200食分、和牛肉の重量にして80kgが使用されました。

この「隠岐黒磯牛」は、隠岐島後で初の肥育経営として農業参入した有限会社おき精肉店が生産したものです。生まれも育ちも隠岐の島町産和牛肉として、新しいブランドづくりが展開されています。

隠岐の島町西郷中学校の3年生は、

「普段、食べたことのないお肉だったので、ごはんがめちゃくちゃ進んで、お腹がいっぱいになりました。」

「すごく脂もあつたんですけど、さっぱりとしていて食べやすかったです。島根の和牛がすごくおいしいんだなぁと改めて感じました。」

「町で見かける牛の姿を思い出して、命のありがたみを感じました。」などとコメントしました。

また、隠岐の島町学校給食センターの佃栄養士は、

「普段から地元の食材を積極的に利用しようと考えています。今回は隠岐の島町で育ったおいしい牛肉を給食で使うことができたことを嬉しく思っています。」と話しました。

今後も隠岐支庁農林局は、関係機関と連携しながら地元においておいしい農畜産物が生産されていることへの理解促進について食育や地産地消をすすめるとともに、生産者の経営安定化を支援していきたいと考えています。

